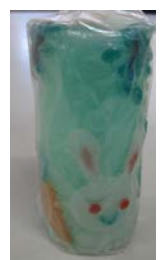


# ◆◇ 創作活動 ◇◇ デコレーションキャンドル

活動の概要	シートワックス（板状のロウ）を竹串・ナイフなどで切りながら型どり、本体のろうそくに貼り付けていくと、きれいなデコレーションキャンドルができあがります。
対 象	小学校高学年～大人
所 要 時 間	およそ2時間
活 動 場 所	千曲 三峰 梓 クラフト室 体験学習室 など
準備する物	利用団体：デコレーションキャンドルセット（売店より購入） 新聞紙 （ドライヤーがあると便利） （使い慣れたナイフがあれば持参してください。）  自然の家：カッター
留 意 事 項	① この活動には研修指導員はつきません。この説明書を参考に製作してください。 ② 荒天時の代替えプログラムとして計画できます。 ③ 活動前に、売店（食堂）でキャンドルセットを購入してから、事務室で道具を受け取り、会場で活動します。 ④ ナイフは、切れる物をお持ちください。自然の家にもありますが、使い慣れて切れる物の方が、ケガが少ないようです。 ⑤ シートワックスの切れ端などが、床に落ちていないように、きれいに片付けて活動終了後は、道具の数を確認し、事務室に戻してください。 ⑥ 使用した活動場所の掃除をし、忘れ物がないか確認してください。

## 展 開 例

- ① キャンドル本体とシートワックスを、しばらく暖かい場所（冬期間は暖房器具の近くなど）に置いておく。
- ② シートワックスは、手の温もりで柔らかくして紙の上に置き、竹串で切り抜き、折り曲げる・丸める・延ばす・ねじる・ちぎる・色を混ぜるなどして、動物・植物・人物・風景・模様など自由に加工する（できるだけ無駄な部分が出ないように使う）。
- ③ ②でできたものを、柔らかいうちに指や竹串でひとつずつ、キャンドル本体にしっかりと貼りつけていく。
- ④ 加工したものをなめらかにしたいときは、ドライヤーを使うときれいになる。できあがった作品は、セロハンで包みリボンでしばるときれいです。



作品例

《注意》★火を点けるときは、燃えない安定感のある受け皿を使い、火のそばを離れない。  
★長時間、直射日光に当てると、溶けたり退色します。